

令和4年度 第5回高田区地域協議会 次 第

(会 議) 日時：令和4年7月19日(火) 午後6時30分
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

1 開会

2 議題等の確認

3 報告

- (1) 諮問事項 金谷地区公民館の移転について(通知)
- (2) 自主的審議事項 高田区における大雪災害対応について
- (3) 令和4年度旧北本町ガス供給所地下水水質調査結果について

4 議題

- (1) 今後の自主的審議について
- (2) 令和4年度地域協議会の活動計画について

5 その他

6 事務連絡

7 閉会

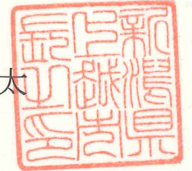
【次回全体会】 8月16日(火) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次々回全体会】 9月20日(火) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

上教社第 3576 号
令和 4 年 6 月 22 日

高田区地域協議会
会長 本城 文夫 様

上越市長 中川 幹太
(教育委員会社会教育課)



金谷地区公民館の移転について (通知)

令和 4 年 6 月 10 日付けで答申のあった諮問第 62 号金谷地区公民館の移転について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、金谷地区公民館を金谷区内に移転することとし、所要の手続きを進めます。

なお、附帯意見に関しまして、現施設の利用者への案内や移転後の施設管理等について、施設の移転に伴う大切なことと認識しておりますので、適宜適切に対応してまいります。



南部まちづくりセンター

令和4年7月1日

上越市長 中川 幹太 様

高田区地域協議会
会長 本城 文夫

高田区において必要な大雪災害対策について（意見書）

高田区地域協議会は、高田区における大雪被害や対策などについて、上越市の関係部局や区内の関係諸団体からの意見聴取と意見交換などを行い、大雪災害対策について協議・検討してきました。そこで得られたことをもとに、「高田区において必要な大雪対策」についての意見を取りまとめましたので、下記のとおり提案します。

記

1. 市長は3月議会で「豪雪は災害との認識」と答弁されました。また、市の広報などで備え等を周知されていますが、高田区では、依然として、大雪を災害と思わない意識があります。市は、昨年1月の豪雪の経験をもとに、行政と市民がともに「大雪そのものが災害である。」という共通認識をもち、協働で大雪に対応するような施策を講じてください。
2. 高田区には、市からの SNS や市の HP など発信・表示される緊急情報を得る手段を持たない情報弱者が多く存在します。市は全ての市民に災害緊急情報を伝達するため、下記事項を検討してください。
 - ・町内会長宅の FAX、防災ラジオ、屋外の防災放送設備、町内放送設備の有効活用。
 - ・大雪災害対策を市民に知らせるチラシは、全戸配布とすること。
3. 大雪時に、高田区に多い狭隘道路に車が入り込んで放置車両となって交通を遮断し、除雪の障害となることを防ぐような通行止めを実施するなどの対策を検討してください。
4. 雁木が途切れている民地を含む通学路の除雪について、誰が行うのか、費用負担はどうするのか、市が業者等に委託することはできないか、緊急除雪作業報償制度を拡大適用することはできないか、検討してください。
5. 一斉雪下ろしの際には、道路通行止の期間を出来るだけ短縮し、排雪完了までの「町内会単位の実施予定表」を事前に関係町内会と関係住民に周知してください。
6. 昨年大雪では、高田区では10日余りの交通途絶の地域がありました。このような状況に備えるために、備蓄物品の種類と保存量の目安を作り、住民に周知してください。また、市の負担による町内会等の備蓄を検討してください。

7. 買い物弱者対策について検討してください。町内会や民生委員の対応では限界があります。
8. 自助、共助及び公助の観点から、大雪の際の、行政、町内会などのコミュニティー、そして、個人の任務分担を明確にし、大雪に対して備えるべきことを明示してください。その際は、雁木通りの地区と戸建ての地区の違いに配慮してください。また、特に高齢者等の要支援者に十分配慮してください。
9. 町内会長、民生委員、防災士など大雪対策に係る関係者の連絡を密にする方策を下記のとおり講じてください。
 - ・民生委員、防災士と町内会との連携について、降雪前に協議するよう依頼する。
 - ・防災士に対してお願いしたい点を検討し、降雪前に依頼する。防災士が町内会と連携し、災害時にリーダーシップがとれるような体制構築が必要。
 - ・町内会と民生委員が協力して、住民の安否等を適宜把握するよう働きかける。
10. 高田区の町内会は8ブロックに分かれています。市は降雪前にブロックごとに住民説明会を開催し、市の大雪対策について説明してください。

上ガ水第 3050 号
令和 4 年 6 月 23 日

高田区地域協議会
会長 本城 文夫 様

上越市ガス水道事業管理者
高 橋 一 之

令和 4 年度 旧北本町ガス供給所地下水水質調査結果について

平成 29 年度に実施した北本町ガス供給所構内の土壌調査において、特定有害物質が基準値を超過した値で検出されました。当該地については、周辺環境に飲用井戸がないことや、敷地内への立入制限を行っていることから、直ちに住民の皆さまへの健康被害を生じる状況にはありませんが、ガス水道局では、土壌内汚染が拡散していないことを監視するため、継続的に地下水の水質調査を実施しております。

今回実施いたしました結果、4か所全ての地下水観測井戸で地下水基準値を超える有害物質は検出されませんでした。

記

○調査結果の概要

- 1. 所在地 北本町2丁目7番1号
- 2. 施設名 旧北本町ガス供給所
- 3. 検査機関 一般財団法人上越環境科学センター
- 4. 調査箇所 敷地内の地下水観測井戸4か所
- 5. 試料採取日 令和4年5月25日(水)
- 6. 調査結果 地下水観測井戸(No.1~No.4)

調査項目名	検出値	地下水基準値
ベンゼン	0.001 (mg/L) 未満	0.01 (mg/L) 以下
シアン化合物	0.1 (mg/L) 未満	*検出されないこと
水銀及びその化合物	0.0002 (mg/L) 未満	0.0005 (mg/L) 以下
鉛及びその化合物	0.005 (mg/L) 未満	0.01 (mg/L) 以下

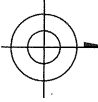
*「検出されないこと」とは、その結果が定量限界(0.1 mg/L)を下回ることをいう。

○今後の対応について

敷地構内については、立入禁止区域の制限を継続し、定期的に地下水の水質調査を継続するなど、周辺地域への環境影響の監視を行います。



南部まちづくりセンター



旧北本町ガス供給所地下水調査箇所位置図

至 春日山駅

至 高田駅

えちごトキめき鉄道

文書倉庫

No. 2

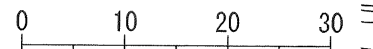
No. 3

文書倉庫

八幡宮

No. 1

No. 4



(凡例)

○ . . . 地下水調査箇所 (4箇所)



令和5年度予算を見据えた今後の自主的審議の流れについて（案）

①地域活動支援事業提案団体との意見交換会

候補日：7月30日（土）10：00～福祉交流プラザ

意見交換先：令和2年度（第4期高田区地域協議会始動年度）以降継続して採択され、かつ、高田区を起源とする提案団体（8団体）

意見交換のテーマ：地域活動による高田区の活性化、課題解決について

②第6回高田区地域協議会

8月16日（火）18：30～福祉交流プラザ

内容：意見交換会を踏まえた自主的審議に関する協議（自主的審議事項を決定）、元気事業や意見書に関する協議

③第7回高田区地域協議会

候補日：8月22日（月）18：30～福祉交流プラザ

内容：元気事業や意見書に関する協議（元気事業等の素案を決定）

④地域活動支援事業提案団体との協議

候補日：9月5日（月）18：30～福祉交流プラザ

協議先：自主的審議事項や元気事業等の素案に関連する提案団体

協議内容：元気事業等の素案を基に、実現性や実施主体について協議

⑤地域活動支援事業提案団体との協議

候補日：9月12日（月）18：30～福祉交流プラザ

協議先：自主的審議事項や元気事業等の素案に関連する提案団体、市関係課

協議内容：元気事業等の素案を基に、実現性や実施主体、元気事業の提案書の内容について協議

⑥第8回高田区地域協議会

9月20日（火）18：30～福祉交流プラザ

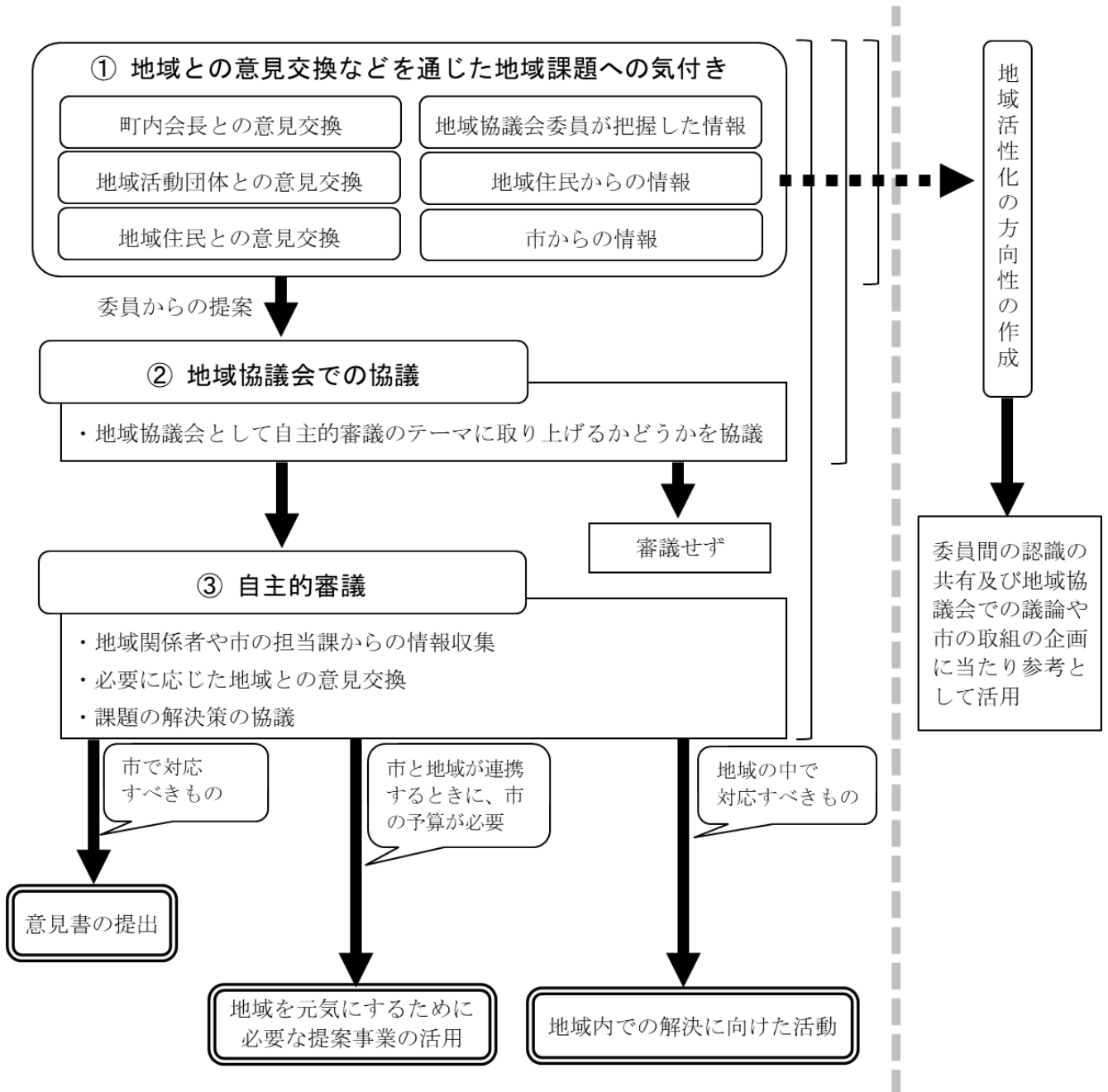
内容：元気事業の提案書に関する協議（内容を決定）

令和2～4年度 高田区地域活動支援事業 採択事業一覧

(単位：円)

通しNo.	提案団体	令和2年度		令和3年度		令和4年度		計
1	本町一丁目・町の歴史を伝承する会	雁木の町並み保存と町名を伝承する事業	240,000	—	—	—	—	240,000
2	青田川を愛する会	青田川桜木整備と景観啓発事業	810,000	青田川桜木整備と環境啓発事業	799,000	青田川桜木整備と環境啓発事業	776,000	2,385,000
3	本町六丁目町内会	町屋交流館高田小町及び高田世界館周辺美化・緑化事業	130,000	—	—	—	—	130,000
4	ちりつも観光プロジェクト	ステイホームの今だから、大切な人にハガキを出そう！郵便の父 前島密生誕の地から、高田区のみなさんとハガキを使った交流や地域観光のPR事業	888,000	—	—	ハガキを使って、高田区の魅力・観光情報を、一人ひとりが心を込めて情報発信！事業	484,000	1,372,000
5	南三世代交流プラザ運営協議会	三世代交流のまちづくりを発信する事業	600,000	三世代交流のまちづくりを発信する事業	494,000	三世代交流のまちづくりを発信する事業	494,000	1,588,000
6	お馬出しプロジェクト	お馬出しプロジェクト事業	369,000	お馬出しプロジェクト事業	272,000	お馬出しプロジェクト事業	256,000	897,000
7	NEO浄興寺プロジェクト	NEO浄興寺プロジェクト事業	1,170,000	—	—	—	—	1,170,000
8	CAP・じょうえつ	地域で「あんしん」子どもへの暴力防止事業	480,000	地域で「あんしん」子どもへの暴力防止事業	175,000	地域で「あんしん」子どもへの暴力防止事業	423,000	1,078,000
9	NPO法人街なか映画館再生委員会	高田小町交流広場発着高田周辺サイクル&ウオーク散策マップ制作事業	319,000	高田世界館周辺散策マップリニューアル事業	300,000	高田小町広場賑わい事業	270,000	889,000
10	NPO法人高田誓女の文化を保存・発信する会	高田誓女の文化の保存・発信事業	189,000	高田誓女の文化の保存・発信事業	722,000	高田誓女の文化の保存・発信事業	204,000	1,115,000
11	高田区北部振興会	北部地域の文化・賑わいを創出する事業	504,000	北部地域の文化・賑わいを創出する事業	935,000	北部地域の文化・賑わいを創出する事業	640,000	2,079,000
12	特定非営利活動法人街なみFocus	地域資源を活かした高田まちづくり事業	430,000	地域資源を活かした高田まちづくり事業	532,000	地域資源を活かした高田まちづくり事業	390,000	1,352,000
13	越後高田・雁木ねっとわーく	風鈴街道in雁木2020事業	931,000	風鈴街道in雁木2021事業	882,000	風鈴街道in雁木2022事業	947,000	2,760,000
14	高田文化協会	高田の文化・文学・文芸を継承する事業	908,000	—	—	—	—	908,000
15	南本町小学校区まちづくり協議会	—	—	地域の町しらべ冊子と竹灯籠事業	720,000	地域のまちづくりとマップ作成事業	600,000	1,320,000
16	上越水墨画フェスティバル実行委員会	—	—	水墨アートで高田区の文化を創出！上越エリア最大の公募展「上越水墨画フェスティバル」事業	400,000	第1回新潟県水墨画フェスティバルの開催事業	574,000	974,000
17	上越美術協会	—	—	上越美術協会の上越地域における美術文化振興事業	90,000	第39回上越美術協会展及び会場における”音楽会”と”まちなか美術館”事業	85,000	175,000
18	高田城復元ネットワーク	—	—	高田城復元模型完成展示会と植木宏先生による「高田城を語る」記録撮影ビデオ作製事業	900,000	見る・知る・伝える「甦れ高田城」郷土史家植木宏氏と巡る外堀・外郭堀・百間堀を紹介する動画発信事業	791,000	1,691,000
19	小川未明研究会	—	—	—	—	小川未明生誕の地を活かしたふるさと・人・まちづくり推進事業	800,000	800,000
20	市老連12ブロック連絡協議会	—	—	—	—	グランドゴルフの普及による地域活性化事業	140,000	140,000
21	南本町三丁目まちづくり協議会	—	—	—	—	雁木の景観保全事業	298,000	298,000
22	誰でも集える場所 じくの家	—	—	—	—	各年齢層のつながりができるように取り組む交流促進事業	357,000	357,000
23	6人の会	—	—	—	—	「原本賢治遺作展（菩提寺光樹寺と大蔵寺）」事業	800,000	800,000
24	松平忠輝公と五郎八姫の会	—	—	—	—	松平忠輝公と五郎八姫の会事業	618,000	618,000
25	浄興寺大門通りまちづくり協議会	—	—	—	—	通年観光来街者のための「浄興寺大門通り磨き上げ」事業	17,000	17,000
26	NPO法人かたばみの家	—	—	—	—	高田区地域だれでも居場所づくり事業	269,000	269,000
27	まちやdeマルシェ実行委員会	—	—	—	—	「雁木のかぼちゃ物語」継承事業	598,000	598,000
28	春日町に根付く謙信公研究	—	—	—	—	春日町に残る御旗保存伝承事業	308,000	308,000
計			7,968,000		7,221,000		11,139,000	26,328,000

令和4年度の自主的審議の流れ

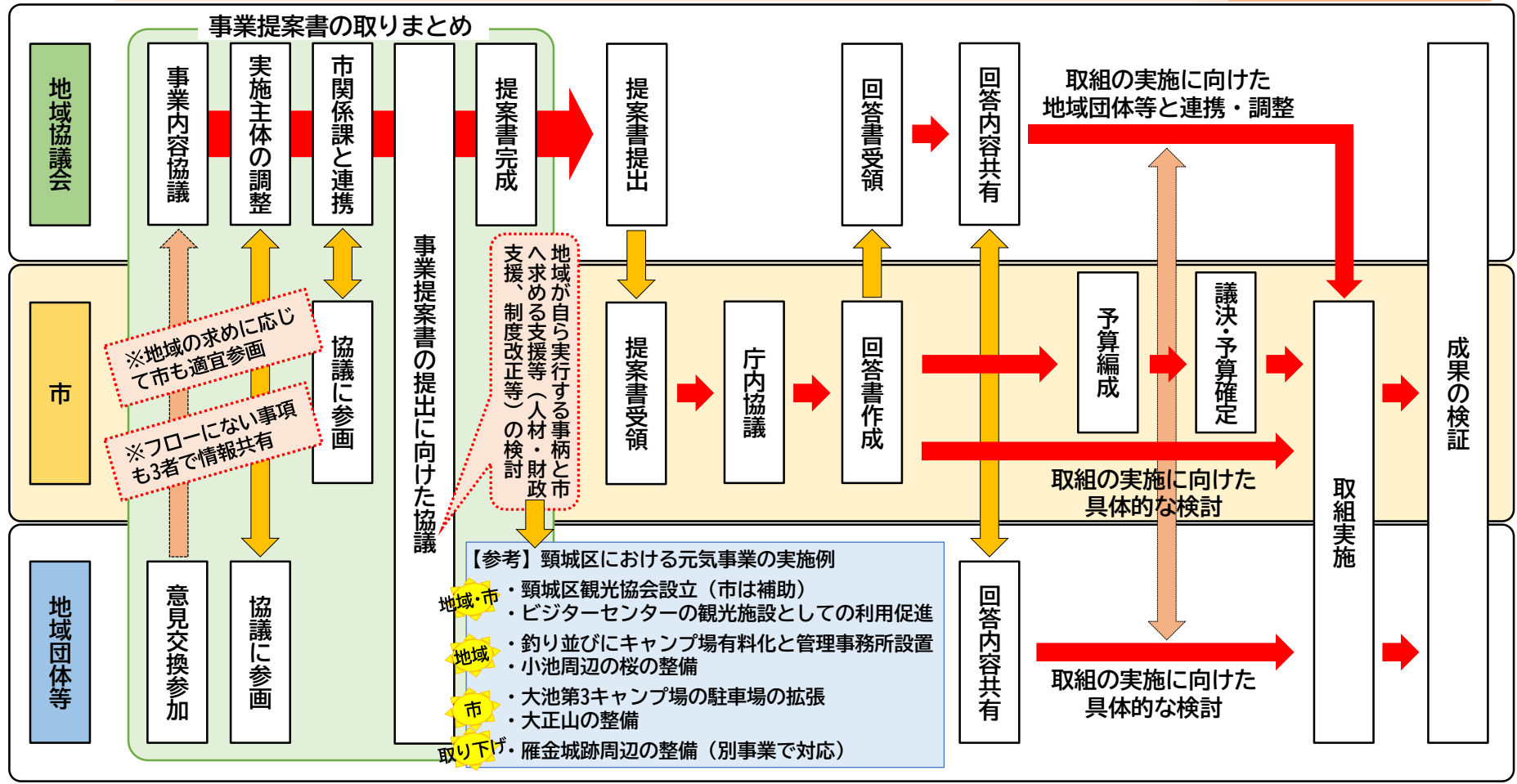


「地域を元気にするために必要な提案事業（元気事業）」の手順例

自主的審議を進めた中で、地域団体等（取組を実施する団体）の参画により課題の解決を図ろうとした時、地域協議会だけではなく、市の協力も必要となる事柄（人材面、資金面、制度の運用面など）が想定される場合、「元気事業」の提案に向けた協議を開始する。

- 元気事業の条件、意見書との違い**
- ☆地域住民や地域団体等との意見交換を通じて把握した課題への対応であること → 協議会のみで検討された課題は原則対象外
 - ☆地域団体等が主体的に取り組む事業であること → 市だけに事業を依頼するものは意見書
 - ☆事業提案に向けた検討の段階から、市が協議に加わる → 市が加わることで、提案事業の実現性、実効性を高める

当年度>>>>> (9月目途) 翌年度以降>>>



『高田の活性化』

－若者の地域参画の実態と課題点の対策－

<目次>

0. はじめに
1. 令和2年度高田区地域協議会委員意見交換会
2. テーマの絞り込みと第一分科会メンバー
3. 具体的活動
 - 3－0. 分科会の定期的会合
 - 3－1. テーマ選定
 - 3－2. 地域参画している若者調査
 - 3－3. 研修会（1） 打田氏によるご講演（町家）
 - 3－4. リノベートされた町家の実態
 - 3－5. 町家見学会
 - 3－6. 研修会（2） 安楽氏、寺尾氏によるご講演（介護）
 - 3－7. 町家及び介護以外に活躍している若者
4. 結論
5. 今後の展望
6. 最後に

0. はじめに

高田区地域協議会では、地域の課題を取り上げ、上げられた課題に対して、現状調査を行い、更に課題の対策について協議し、問題あれば、自主的審議事項にあげるべく活動を展開することになった。

1. 令和2年度高田区地域協議会委員意見交換会（2020年11月、2021年4月）

- ・2020年11月30日に、協議会委員16名が三班に分かれて、地域課題及び地域協議会の役割について意見交換を行った。
- ・2021年4月19日に、協議会委員18名が三班に分かれて、昨年の11月に出された意見等をまとめた。地域課題として、以下の6項目が挙げられた。
 - ①地域活動の活性化について
 - ②雁木、空き家対策、高齢者世帯の問題について
 - ③中心市街地の活性化について
 - ④空き家と防犯の問題について
 - ⑤高田の魅力の共有とまちづくりについて
 - ⑥大雪、水害、地震の災害時における対応について
- ・これらを検討していく時に、全体会議だけでなく、テーマ毎に分科会という形で議論して、全体会議に上げる方法で議論してはどうかという意見が出された。

2. テーマの絞り込みと第一分科会メンバー（2021年7月、8月）

- ・分科会の活動の実施にあたり、会長、副会長協議により、以下の4つのテーマが与えられ、メンバー編成がなされた。
 - A 「高田区の活性化について」を話し合う分科会
 - B 「高田区の魅力の発見と共有について」を話し合う分科会
 - C 「高田区における災害（大雪、水害、地震）時の対応について」を話し合う分科会
 - D 分科会に所属しない
- ・Aを選んだ委員が7名。
- ・Bを選んだ委員が2名。
- ・Cを選んだ委員が5名。
- ・Dを選んだ委員が5名。
- ・A案とB案を選択したメンバーがいっしょになり、9名でAのテーマを行う事になった。
- ・9名のメンバーは以下の通り。
 - 浦壁、小川、小嶋、高野、富田、本城、松倉、宮崎、村田
- ・座長は富田、副座長は小川となった。

3. 具体的活動（2021年9月～2022年6月）

3-0. 分科会の定期的会合

- ・分科会の定期的会合は、正副会長会議より、基本的に、月の第一週の月曜日の1時間程度の指示が出され、活動期間中に合計10回の会合が持たれた。
- ・その議事要旨は、座長、副座長がまとめ、会合後、1週間以内に事務局へ提出することになった。
- ・提出された議事要旨は、次年度の全体会議に報告した。

3-1. テーマ選定（2021年9月～2021年12月）

「高田区の活性化」という大きなテーマでは広がり過ぎるので、更に活性化に繋がる具体的なテーマ選定となり、第一分科会メンバー内で協議し、第一分科会としては「地域活動支援事業の活性化」となったが、全体会議にて、限られた若者からのヒヤリングでは、その若者から事業

提案があった場合、【審査】に情が入り、不平等になるというコメントがあり、そのテーマを没とした。再度、協議し、最終的に「若者の地域参画」とした。

P-7の「第一分科会の協議フロー図」を参照。

注釈：【審査】・・・提案された事業は、地域協議会メンバーが審査する。

3-2. 地域参画している若者調査（2021年9月～2022年5月）

- ・高田地区で活動している若者の情報収集のため、くびき野NPOサポートセンターや行政、市民団体等、各方面の方々と個別に面談した。
- ・合計24名の方々にヒヤリングすることができた。
ヒヤリング結果の概要は、一覧表にして残した。
- ・第四回分科会（12月6日開催）にて、町家リノベート、スポーツ、介護、文化等に関わっている若者の紹介がなされ、町家リノベートを中心に行っている若者の集団（キナイヤプロジェクト）について、話題となった。
- ・若者の地域参画において、市と方向性（街の活性化）が異なっていてはまずいという意見が出され、キナイヤプロジェクトは上越市事業の一環として行っており、その目指す方向性は問題なしとなり、そのプロジェクトリーダーの打田亮介さんに講演を依頼することにした。

3-3. 研修会（1） 打田さんによるご講演（2022年1月）

- ・2022年1月11日、福祉交流プラザにて、キナイヤプロジェクトのリーダーの打田さんより、以下の三つの内容について、ご講演をいただいた。

（1）合同会社ニトデザイン&リビルド設立と町家複合施設

（2）雁木のまち再生の活動

（3）キナイヤプロジェクトの活動

- ・講演より以下の事が見えてきた。
 - ・県外から来た人が熱意を持って活動している中で、地域の人たちの支えが大切であり、更に行政の関りも重要である。
 - ・活動を継続していく事が大切。
 - ・若者の人脈だけでなく、地元の人たちの人脈も大切。
 - ・よそ者の方が街の価値に気づきやすく、その活動に刺激を受けた。
 - ・リノベーションされた町家空間の活用が素晴らしい。
 - ・如何に発信していくか、如何に支え合っていくかが今後の活動において、ポイント。
 - ・行政の協力を仰ぎながら、空き家の調査などを進めていく事が空き家の有効利用に効果的。
- ・課題として以下の事が挙げられた。
 - ①本活動の一般者へのPR
 - ②本活動の住民及び行政へのPR及び協力
 - ③資金源
 - ④空き家の早期譲り受け
- ・課題の対策の現状調査
 - ①～④の課題の対策を調査した。
 - 1) ①、②について
 - ・インターネットのホームページで発信している。
 - ・キナイヤプロジェクトにおいて、行政の方もメンバーとなって、協力している。
 - ・市民団体による冊子発行による「町家リノベート」PRあり。
 - ・市民団体が、2022年2月に冊子「つぎつぎ」を発行し、リノベートされた町家をPRしている。
2022年2月に、高田町家小町にて、その冊子の発表会があり。（その発行者の中に、高田

出身の若者が含まれていた)

II) ③について

- ・行政に補助金制度がある。またクラウドファンディングを利用している事例がある。

III) ④について

- ・モデルケースとして、町内会と行政が協働の形をとり、「上越市まちなか居住推進事業」なるプロジェクトの中で、空き家の早期譲り受けを検討中・

具体的に、大町5丁目と上越市都市整備課市街地整備係の協働

以上の結果より、課題の対策が現在進行形で進んでおり問題なしと判断し、今後も様子を見ていきたい。

3-4.リノベートされた町家の実態

- ・上越市企画政策課が中心となり、若手女性陣によりリノベートされた町家を紹介している冊子が出されている。(2020年3月発行)
- ・2020年3月以降にリノベートされた町家が誕生している。その一覧表をP-8に示した。
- ・2022年に入ってからリノベートされた町家が4件あり、そのうち若者が3件、事業を開始している。

3-5.町家見学会

- ・4月2日、9日において、高田区地域協議会のメンバーがまめつぶ焙煎所、bibit、天国&四九ノ市を見学した。その時の気づきについて列記する。

<将来への希望>

- ・地域のニーズを見通して、勇気を持って、実行に至ったについて、感銘を受けた。
- ・人生のスタートの場所として、本地域を選んでくれたことに感動した。
- ・町屋をリノベートした使い方が新鮮であり、高田の街全体に新たな付加価値をつけていただいた事に感銘を受けた。
- ・見学した3件ともリノベートによる町家の再生であり、今後の街の活性化につながる好事例。今後の町家のリノベートによる利活用が期待される。
- ・見学した3件ともに比較的若い人が仕掛け人となり、使われていない町家を活用して人々が行き交うきっかけになっており、素晴らしいと思う。

<アイデアについて>

- ・朝市のお客さんのトイレ場所という発想はお客様のことを考えたいいいアイデアと思う。
- ・もったいない精神で、捨てられる道具や古材が誰かに引き継がれ、どこかで役に立つのではないかという発想で商売を始めたことに感嘆。
- ・焙煎作業時の何とも言えない極上の匂い臭がコーヒー通の人を引き付けるアイデアは素晴らしい。
- ・bibitさんのミーティングルームにおいて、多機能のディスプレイがあるのは素晴らしい。

<今後の課題>

- ・bibitさんにおいて、初めての人は、一人では入りにくい。
- ・天国@四九ノ市店にて、何を販売しているのかが分かりにくかった。説明を聞けばなるほどと分かる。
- ・3店とも、インターネットのホームページでPRしており、短期間勝負ではなく、長い期間を通して関係者に知れ渡り、結果を出したいという思いが伝わってきた。

<その他>

- ・机上だけでなく、現場を見れたことは非常に有意義であった。
- ・3店とも、利用する人が喜んでいただけることが自分たちの喜びであるという印象を受けた。

3件とも、コミュニケーションできるスペースがあり、町家に新たな機能を付加させて入り、今後の利活用が期待される。

3-6. 研修会（2） 安楽さん、寺尾さんによるご講演（2022年5月）

- ・5月9日、福祉交流プラザにおいて、安楽氏と寺尾氏より、以下の介護について講義を受けた。
 - （1）高齢者（若年性認知症患者を含む）の介護について・・・安楽 大氏
 - （2）児童障害児の介護について・・・・・・・・・・・・・・・・寺尾明美氏
- ・お二人の介護に対するモチベーションの高さを感じることができた。
その情熱が、仲間を募った時に承諾していただいたものと思われた。
また上越市の行政が介護に対する姿勢を感じることもできた。
- ・（1）について、高齢者の屋外での活動を増やしていき、介護されている高齢者の方が社会に役立っているという意識を高めることにより、生きがいを増長させたいという安楽氏の考えに共感を覚える。
- ・（2）においては、多くの方々に支援していただくために、本活動のPRを行政や他の機関を通じて行っていく事が重要。

3-7. 町家及び介護以外に活躍している若者

- ・町家や介護以外の分野で活躍している若者について、2例を紹介する。
いずれも、モチベーションが高く、前向きな思いで、新しい事業を経営している。
- ・**アクティブスポーツを経営する若者**
上越アクティブスポーツパーク（カーポート内）にて、2016年から、ボルタリングやスケートボードやトランポリンやBMXなどを行っている。
会員数が300名ほど。
上越市に冬季間でもスポーツができる複合型の室内パークを目指して、活動中。
- ・**焼芋販売を経営する若者**
寺町で、2022年3月より「いも野郎」というお店で、壺焼き芋店を始めた。
高齢者の少しでもお役に立てればとの思いで、お店を始めた。

4. 結論

- 1) 「高田の活性化」を大テーマにして、活動を行い、「若者の地域参画」という小テーマで実態把握に努め、課題点を明確化し、その対策がなされているかについて調査した。
- 2) その結果、今回調査した若者の活動において、行政や市民団体や町内会等との協働でうまく行われていることを確認した。
そのPRについて、インターネットによるホームページやフェイスブックやインスタグラム等があり、問題ないと判断する。
ただ、インターネットを使いこなして切れていない地域住民に対して、どのように知らしめて行き協力を仰ぐかについて、行政に依頼するのみではなく、地域協議会としてその周知方法を考えて行きたい。
資金源においても、行政からの補助金があり、更にクラウドファンディング等で資金調達が可能となり、若者の参画を助長している。
- 3) 以上の事より、現時点では自主審議事項にあげるような課題はないと判断する。
今後は、定期的に、今回、関係した若者のグループと協議していき、課題点があれば、いっしょになって考えていきたい。
少なくとも、第四期の地域協議会が終了するあと2年間は、CAPDを行って行きたい。
CAPD：チェック、アクション、計画、実行の略号

5. 今後の展望

- ・上越市では、地域自治推進プロジェクトの活動において、地域協議会に「地域の活力向上を目指して」と題して、以下の2つの事を依頼してきた。

①自主的審議

「元気事業の提案」や「意見書の提出」「地域内での問題解決」を自主的審議する。

②地域活性化の方向性の作成

- ・本目的を果たすために、地域協議会に3つの活動が求められている。

(2022年6月29日 頸北地区地域協議会合同市長懇談会より、中川市長がご説明)

- 1) 地域住民や地域団体等から地域の声を聞く。
- 2) 地域のお宝探しを行う。
- 3) 地域の方向性を議論し、提案する。(地域ビジョンの策定)

- ・そのアプローチの方法として、

高田区では、地域活動支援事業を支えて来られたプロジェクトが種々あるが、これらのプロジェクトの声を聞いてはどうか。

例えば、以下の活動に参画しているプロジェクトはどうか。

- * 高田の雁木景観資産としての保存再生事業
- * 青田川環境保全活動、桜並木整備事業
- * 高田寺町まちづくり事業
- * 高田城址公園整備事業
- * 高田市街地ミニ観光回遊世代間交流事業

更に、今回の若者の地域参画で活動している若者たちの声を聞いてはどうか。

6. 最後に

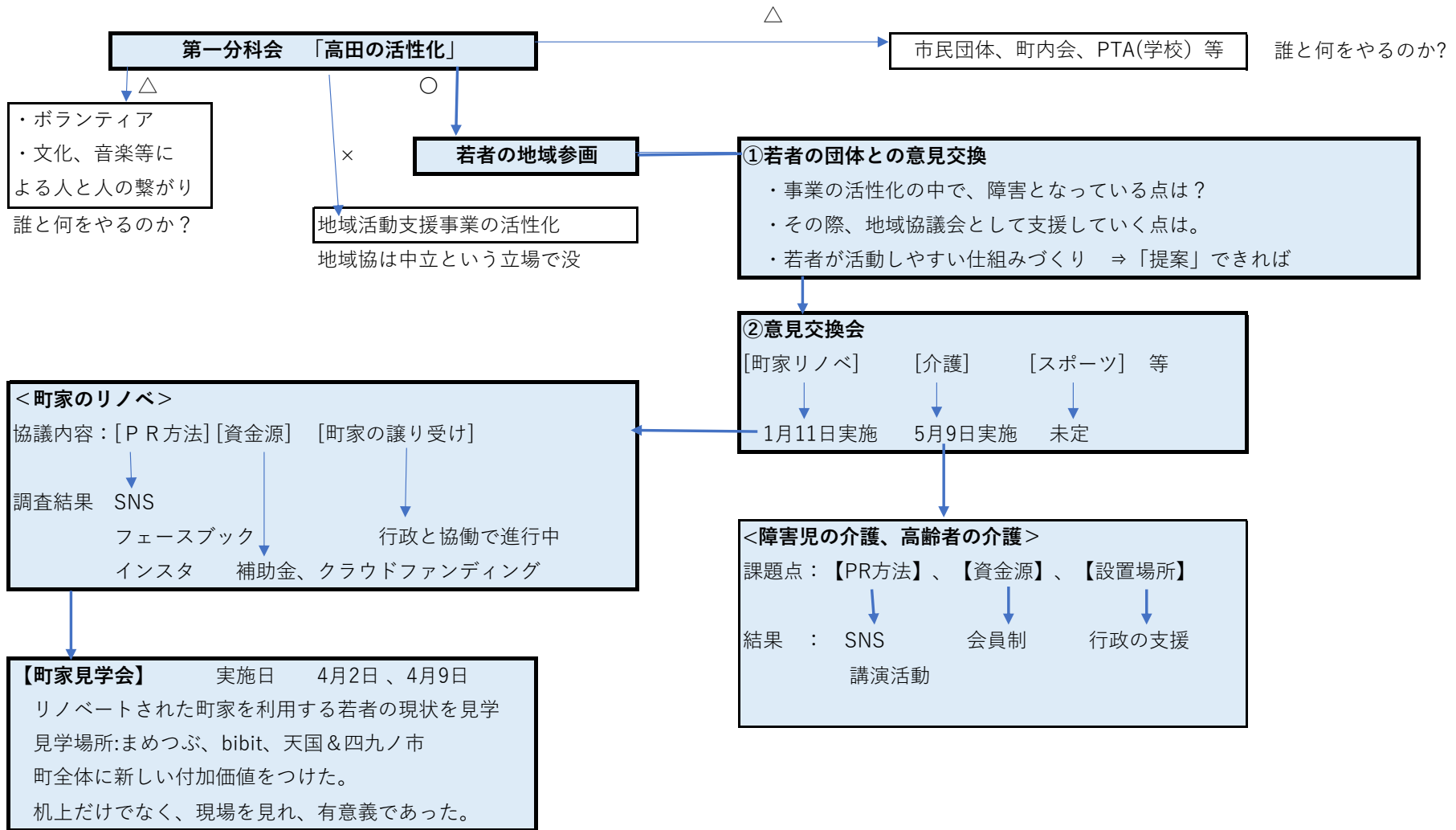
今回の活動でお世話になった方々に敬意を表すると共に、本報告書の概要をお送りし、『若者の地域参画』の実態を知っていただき、街の活性化に向け、積極的な関与をお願いしたい。

併せて、本報告書の概要を通して、若者たちに、少しでも地域協議会の活動の実態を知っていただけたらと願う。

『第一分科会の協議フロー図』

2022年3月9日 作成

2022年5月9日 見直し



町屋をリノベートして、事業化したお店

No	町屋の名称	住所	築年数（年）	営業開始日	お店の特徴
1	兎に角	仲町4丁目	150	2019/12/13	コーヒースタンド、シェアキッチン
2	世界ノトナリ	本町6丁目	90	2018/3/21	カフェ
3	みんなのふれんち	本町2丁目	150	2018/2/26	創作フレンチのお店
4	ハンモックとヨガ	本町2丁目	100	2019/3/1	ヨガスタジオ
5	(株) アクセル	仲町5丁目	150	2019/7/13	オフィス兼みんなのいこいの場
6	大谷文具店	本町7丁目	80	2016年	まちの文具店
7	(株) テラスカイ	本町6丁目	130	2017/4/17	IT企業のテレワーク拠点
8	おもて屋	本町6丁目	明治時代	2018/10/8	高田小町内のお土産屋
9	町の家	仲町6丁目	50	2018/7/14	民泊施設
10	青芋のいえ	仲町6丁目	昭和初期	2018/6/15	民泊施設
11	ガンバコルタ	本町5丁目	130	2010/11/1	蔵を改造したレストラン
12	bar mocomoco	本町5丁目	100	2013/12月	お酒やコーヒーなどのドリンク店
13	66グリル&バー	大町5丁目	45	2018/6月	本格グリル屋
14	スイミー	本町6丁目		2021/春	古本と日本酒
15	天国&四九ノ市	大町4丁目		2021/1月	クリエート
16	珈琲焙煎所まめつぶ	本町2丁目	80	2022/1月	コーヒー豆販売、クリエート
17	bibit	本町4丁目	35	2022/2月	クリエート
18	cafe308	大町5丁目		2020/9月	カフェ&バー
19	パンプー	本町2丁目		2019年	パン屋
20	和たしじかん藤喜	大町3丁目		2022/2/5	和服の着付け等
21	七つの森	本町3丁目		2022/3月	カレー店

事業開始年	件数
2018年	6
2019年	4
2020年	1
2021年	2
2022年（5月まで）	4